

第5節 クリーン推進課

〔総括概要〕

今日、廃棄物の処理に関しては、環境に対する世界的な意識の高まりを背景とし、環境に配慮した資源循環型の持続可能な社会の実現が求められている。栃木市においても市民一人一人が日常的に意識して食品ロスを減らし、ごみの分別を適切に行い、リサイクルを推進することで、ごみの減量化を図ることやごみの焼却に伴って排出される二酸化炭素等の削減により環境負荷の軽減や脱炭素社会の実現を目指すことが重要な課題となっている。

これらの諸課題に対応し、廃棄物処理行政の円滑で積極的な推進を図るため、クリーン推進課においては、2系の体制により事務を推進している。

ごみ減量係では、資源循環型の社会づくりを目指し、家庭から出る生ごみの自家処理を進めるための補助事業を推進したほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、市内全域に地域クリーン推進員を配置し、生活環境や公衆衛生の向上のため市民意識の啓発推進に努め、自治会等による清掃活動への協力、ボランティア活動に伴うごみの回収等を行った。

不法投棄防止対策として、不法投棄監視員によるパトロール及び不法投棄物の回収等を実施したほか、不法投棄監視カメラを運用し、不法投棄監視に取り組んだ。

施設係では、市内から発生する一般廃棄物を安全かつ適正に処理するとともに、再生品の展示販売、廃棄物の資源化により最終処分量の削減に努めた。また、施設で発電した電力を地元の業者に販売することで、エネルギーの地産地消を推進した。

とちぎクリーンプラザ及び衛生センターの運営については、運転管理、修繕、物品の調達等の各業務を一括して委託する包括的業務委託を導入し、施設の安全かつ安定した運転、適正な維持管理を実施するとともに、周辺環境の保全に努めた。

また、とちぎクリーンプラザは、長期稼働により設備機器の老朽化が進行していたことから、施設の延命化対策と長寿命化を進めるとともに、二酸化炭素排出量の削減対策のため、基幹的設備改良工事を令和4年度から実施しているが、本年度末に当該工事が完了した。

さらに、衛生センターは、長期稼働により老朽化が進行し、施設の寿命を迎えることから、令和13年度供用開始に向け、新たなし尿処理施設として汚泥再生処理センターを整備するため、し尿処理施設整備基本計画を策定した。

ごみ減量係

1 地域クリーン推進員事業

地域クリーン推進員連合会の協力を得て、美化キャンペーン等を実施した。

・委嘱状況 地域クリーン推進員 471人

（栃木：170人、大平：47人、藤岡：103人、都賀：32人、西方：39人、

岩舟：80人)

2 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目により、もやすごみは週2回、紙類は月4回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月2回、もやさないごみは月3回、小型家電は月1回の収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

廃食用油は、市本庁舎、各総合支所、とちぎクリーンプラザ、各道の駅で拠点回収を行った。

小型家電及び家庭で使用したインクカートリッジは、収集委託のほか、市本庁舎、各総合支所、とちぎクリーンプラザで拠点回収を行った。

休日・祝日等の犬猫等死体の収集については、委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) 委託によるごみ収集量

(単位：t)

もやす ごみ	もやさない ごみ	資 源 物				粗 大 ごみ	合 計
		紙 類	空カン 空ビン	ペットボトル トレイ	小型家電		
26,317.92	1,829.89	1,812.64	1,133.08	574.54	176.58	20.82	31,865.47

(2) 拠点回収の回収状況

(単位：kg)

廃食用油	小型家電	インクカートリッジ
3,751.30	70.00	37.84

(3) 休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況

(単位：頭)

犬	猫	その他	合 計
0	46	85	131

3 不法投棄監視事業

(1) 不法投棄監視員

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため不法投棄監視員を設置し、巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

ア 地区別不法投棄物回収件数

(単位：件)

区分 地区	生活系 廃棄物	家 電 4品目	電 化 製 品	粗 大 ごみ	産 業 廃棄物	その他	合 計
栃 木	30	3	0	16	5	0	54
大 平	20	1	2	14	6	1	43
藤 岡	12	5	0	3	14	0	34
都 賀	1	0	0	0	0	1	2
西 方	0	0	0	0	1	0	1
岩 舟	34	4	1	3	10	0	52

委託期間：令和5年度から令和19年度まで

委託業者：東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号 エクシオグループ(株)

(1) 一般廃棄物の総搬入量 (単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合 計
		小型家電	空カン 空ビン	ペットボトル トレイ		
37,504.91	2,240.18	177.81	1,133.10	575.91	874.66	42,506.57

(2) もやすごみの搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
625.32	26,317.92	10,554.21	7.46	37,504.91

(3) もやさないごみの搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
17.95	1,829.89	390.87	1.47	2,240.18

(4) 資源物の搬入状況 (単位：t)

種 類	直 営	委 託	直接搬入	合 計
小 型 家 電	1.23	176.58	-	177.81
空 カ ン ・ 空 ビ ン	-	1,133.08	0.02	1,133.10
ペットボトル・食品用トレイ	-	574.54	1.37	575.91
合 計	1.23	1884.20	1.39	1,886.82

(5) 粗大ごみの搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
30.21	20.82	823.23	0.40	874.66

(6) 特定家庭用機器の搬入状況（重量は粗大ごみに含む。）（単位：台）

種 類	収 集	直接搬入	不法投棄	合計
エアコン	0	6	3	9
テレビ	9	264	13	286
冷蔵庫等	17	88	8	113
洗濯機	10	76	3	89

2 最終処分業務委託

(1) 焼却残渣運搬処分業務

もやすごみの焼却により発生した焼却残渣の運搬及び最終処分を委託した。

ア 委託業者 埼玉県さいたま市大宮区大成町2丁目224番地1

(株)ウィズウェイストジャパン

・処分施設 ①福島県田村郡小野町大字南田原井字大和久169-2外

(株)ウィズウェイストジャパン 小野ウェイストパーク

②青森県三戸郡三戸町大字斗内字立花49-1外

(株)ウィズウェイストジャパン 三戸ウェイストパーク

- ・搬出量 焼 却 灰 403.39 t
飛灰固化物 976.40 t
- イ 委託業者 山形県米沢市大字板谷315番地
ジークライト(株)
- ・処分施設 山形県米沢市大字板谷字四郎右エ門沢773番地1外
ジークライト(株) エコポート最終処分場
- ・搬出量 焼 却 灰 709.92 t
飛灰固化物 157.10 t

(2) 不燃残渣運搬処分業務（もやさないごみ破碎後の不燃物）

もやさないごみを破碎処理した後に生じる不燃残渣の運搬及び最終処分を委託した。

- ・委託業者 栃木市泉川町455番地1
(有)栃木クリーン
- ・処分施設 長野県中野市大字豊津5520番地外
飯山陸送(株) ハサマ第二処分場
- ・搬出量 不燃残渣 748.22 t

3 処理困難物処理業務委託

(1) 破碎困難物運搬処理処分業務（ベッド・ソファ等）

とちぎクリーンプラザで破碎処理が困難なスプリング入りのベッド・ソファ、ワイヤー入りのホース等の運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

- ・委託業者 埼玉県さいたま市大宮区大成町2丁目224番地1
(株)ウィズウェイストジャパン
- ・中間処理施設 茨城県かすみがうら市加茂5356番地1
(株)ウィズウェイストジャパン 東関東リサイクルパーク
- ・最終処分施設 ①福島県田村郡小野町大字南田原井字大和久169-2外
(株)ウィズウェイストジャパン 小野ウェイストパーク
②青森県三戸郡三戸町大字斗内字立花49-1外
(株)ウィズウェイストジャパン 三戸ウェイストパーク
- ・搬出量 12.98 t

(2) 廃乾電池・廃蛍光灯運搬処理業務

ア 有害ごみとして収集された廃乾電池の運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

- ・委託業者 長野県小諸市平原309番地1
イー・ステージ(株)
- ・中間処理施設 長野県小諸市平原309番地1
イー・ステージ(株)
- ・最終処分施設 奈良県御所市重阪329番地外12筆
南都興産(株)
- ・搬出量 34.69 t

イ 有害ごみとして収集された廃蛍光灯は、公益社団法人全国都市清掃協議会の広域回収処理事業を活用し、運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

- ・委託業者 東京都中央区日本橋堀留町2丁目1番3号
野村興産(株)
- ・処理処分施設 北海道北見市留辺藻町富士見217番地1
野村興産(株) イトムカ鉱業所
- ・搬出量 5.67 t

4 資源化処理業務委託

(1) 再商品化業務

分別回収されたガラスびん（カレット（無色・茶色・その他の色））及び発泡トレイの運搬及び再商品化業務を委託した。

- ・委託業者 東京都港区虎ノ門1丁目14番1号 郵政福祉琴平ビル
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
- ・処理施設 ガラスびん 茨城県龍ヶ崎市向陽台2番地3 つくばの里工業団地
硝和ガラス(株)
- ・処理施設 発泡トレイ 東京都西多摩郡瑞穂町長岡3丁目5番15号
(株)加藤商事リサイクルプラント
- ・搬出量 ガラスびん（無色） 278.31 t
ガラスびん（茶色） 369.45 t
ガラスびん（その他の色） 119.92 t
発泡トレイ 11.54 t

(2) カレット残渣（ガラスくず）運搬再資源化業務

手選別後に残るカレット残渣（ガラスくず）の運搬及びリサイクル処理を委託した。

- ・委託業者 千葉県銚子市春日町740番地の1
ガラスリソーシング(株)
- ・処理施設 千葉県銚子市春日町740番地の1
ガラスリソーシング(株) 本社工場
- ・搬出量 60.20 t

5 周辺環境分析業務委託

(1) 環境モニタリング分析調査業務

とちぎクリーンプラザ周辺地域の大气・土壌・水質中のダイオキシン類及び有害物質の調査を実施した。

- ・調査地点 栃木市梓町、尻内町、都賀町大柿、都賀町深沢地内
①大气 5か所 ②土壌 8か所 ③水質 7か所
- ・調査回数 年1回（10月）
- ・調査項目 ①大气（浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、光化学オキシダント、塩化水素、ダイオキシン類）

②土壌（カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ダイオキシン類）

③水質（水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、浮遊物質、溶解酸素量、大腸菌数、ダイオキシン類）

(2) とちぎクリーンプラザ周辺水質分析業務

とちぎクリーンプラザ周辺の地下水水質検査を実施した。

- ・検査地点 栃木市梓町・尻内町地点（2か所）
- ・検査回数 年1回（12月）
- ・測定項目 水質基準51項目

6 廃家電運搬業務委託

特定家庭用機器に該当する廃家電品の指定引取場所への運搬を委託した。

- ・委託業者 栃木市柏倉町536番地1
栃木カレット(有)
- ・指定引取場所 栃木市岩舟町静和474番地4
(株)共同陸運
- ・運搬回数 20回
- ・搬出量 11.15 t

7 放射性物質濃度測定業務委託

(1) 焼却灰等放射性物質濃度測定業務

焼却残渣と製品化されたスラグに含まれる放射性物質濃度の測定を委託により実施した。

- ・測定箇所 とちぎクリーンプラザ
- ・測定項目 セシウム134、セシウム137

(2) 排ガス中の放射性物質濃度測定業務

ごみ焼却時に発生する排ガス中の放射性物質濃度の測定を委託により実施した。

- ・測定箇所 とちぎクリーンプラザ焼却炉（2炉）
- ・測定項目 セシウム134、セシウム137

8 資源有価物売却

(1) 選別等の中間処理による資源化物

分別した資源ごみ及び焼却灰を熔融してできたスラグを有価財産として売却した。

品 目	アルミ缶 プレス	鉄缶 プレス	シュレッダ ーアルミ	シュレッ ダー鉄	鉄ガラ	焼磁性物
売却量(t)	185.16	130.61	55.09	191.34	133.51	241.92
売却金額(円)	60,885,709	5,276,548	4,499,436	2,383,123	2,017,695	491,438
品 目	新聞紙	ダン ボール	雑誌	廃モータ類	非鉄ガラ	熔融スラグ

売却量(t)	13.89	72.69	66.22	1.31	10.19	1,203.15
売却金額(円)	15,279	79,959	72,842	1,441	100,881	64,652
品 目	小型家電 (携帯電話)	小型家電 (P C)	小型家電 (コード類)	羽毛布団	リチウムイ オン電池	ニッケル 水素電池
売却量(t)	0.47	3.14	8.69	1.90	0.88	0.18
売却金額(円)	206,800	51,810	955,900	516,153	5,808	990

(2) 使用済みペットボトルの水平リサイクル

分別回収された使用済みペットボトルを有価財産として売却した。

- ・ 協定相手方 東京都港区芝浦3丁目1番1号
サントリーインターナショナル(株)
愛知県半田市中村町二丁目6番地
(株)M i z k a n
- ・ 処理施設 鹿沼市深程990番地30
ジャパンテック(株) 宇都宮工場
- ・ 売却量 453.55 t
- ・ 売却金額 36,386,135円

9 余剰電力の売電

ごみ焼却に伴う余熱で発電を行い、所内の電力に使用し、また余剰電力が発生した場合には地元栃木市の電力会社に売電し、エネルギーの地産地消を行った。

- ・ 売却量 2,257,219kwh
- ・ 売却金額 20,269,816円

10 再生品提供事業

搬入された粗大ごみの中から、再利用できるものを修理し、展示販売した。

- ・ 申込件数 2,722件
- ・ 提供台数 277件
- ・ 提供価格 548,100円

11 とちぎクリーンプラザ運営協議会

とちぎクリーンプラザの建設及び操業に関し、公害の発生防止を図り、周辺住民が健康で安心して住める生活環境を確保することを目的として、栃木地域及び都賀地域の近隣自治会と連携して会議・視察等を行った。

開催日時	議 題
5 月 28 日 (第 1 回)	(1) 役員の互選について (2) 令和 6 年度ごみ処理状況について (3) 令和 7 年度ごみ処理計画について (4) その他
11 月 21 日	(1) (仮称) 栃木市汚泥再生処理センターから発生した汚泥の有効利用

12 搬入ごみ抜打ち検査

奇数月に許可業者等の搬入車のもやすごみの内容物を検査し、搬入可能なごみ以外のもの（産業廃棄物、市外のごみ等）の混入や、ごみの分別がされていない場合は、口頭により指導を行った。

- ・実施回数 6回（奇数月に1回実施）

13 藤岡地域及び岩舟地域のし尿及び浄化槽汚泥の搬入状況

衛生センターにおける処理能力では市全域分のし尿（生し尿及び浄化造汚泥）を処理することが難しいため、藤岡地域及び岩舟地域のし尿及び浄化槽汚泥の処理を佐野市に委託した。

（単位：k1）

区 分	し 尿	浄化槽汚泥	合 計
藤 岡	427.21	2,423.08	2,850.29
岩 舟	1,241.75	3,151.56	4,393.31
合 計	1,668.96	5,574.64	7,243.60

14 衛生センター包括的業務委託事業

民間事業者の技術やノウハウを取り入れ、衛生センターの運転管理業務、維持管理業務、物品調達業務等を包括的に委託し、し尿及び浄化槽汚泥の処理を適正に行った。

- ・委託期間 令和3年度から令和7年度まで
- ・委託業者 東京都中央区晴海3丁目5番1号
月島JFEアクアソリューション(株)

- ・し尿及び浄化槽汚泥の搬入状況

（単位：k1）

区分	し 尿	浄化槽汚泥	合 計
栃 木	907.08	12,653.67	13,560.75
大 平	746.20	4,945.76	5,691.96
都 賀	192.00	1,328.09	1,520.09
西 方	119.98	829.95	949.93
合 計	1,965.26	19,757.47	21,722.73

上記のほか、施設の不具合等によりし尿と浄化槽汚泥の処理ができない壬生町の依頼を受け、下表のとおり本市の衛生センターにおいて壬生町から発生したし尿と浄化槽汚泥の処理を行った。

（単位：k1）

区分	し 尿	浄化槽汚泥	合 計
壬生町分	24.86	110.58	135.44

15 脱水汚泥資源化業務委託

し尿、浄化槽汚泥を処理した後に生じる脱水汚泥の運搬及び資源化を委託した。

- ・運搬業者 栃木市泉川町455番地1
 (有)栃木クリーン
- ・資源化施設 茨城県結城市大字上山川4102番地1
 ときわ化研(株) 結城工場
 栃木県日光市猪倉2151番地
 鹿沼化成工業(株) 日光工場
- ・搬出量 ときわ化研(株) 904.18 t
 鹿沼化成工業(株) 266.09 t
 搬出量合計 1,170.27 t

16 し渣資源化業務委託

し尿、浄化槽汚泥を処理した後に生じるし渣の運搬及び資源化を委託した。なお、令和6年度に実施したし渣の焼却処理試験の結果、良好と判断されたため、本年度からとちぎクリーンプラザにおける処理を開始した。

- ・運搬業者 栃木市泉川町455番地1
 (有)栃木クリーン
- ・資源化施設 埼玉県大里郡寄居町大字三ヶ山313番地
 オリックス資源循環(株)
- ・搬出量 6.55 t
- ・処理施設 栃木市梓町456番地32
 とちぎクリーンプラザ
- ・搬出量 5.17 t

17 とちぎクリーンプラザ基幹的設備改良工事

平成15年3月からの長期稼働により設備機器の老朽化が進行していることから、施設の延命化対策と長寿命化を進めるとともに、二酸化炭素排出量の削減を図るため、令和4年12月から実施している基幹的設備改良工事が3月に完了した。

- (1) 工事期間 令和4年12月15日～令和8年3月31日
- (2) 対象施設 ごみ焼却施設、リサイクルプラザ、リサイクルセンター
- (3) 主な工事 二酸化炭素排出量削減に寄与する設備機器及び関連する設備機器
 - ・灰溶融炉の整備
 - ・蒸気タービン及び発電機の改良
 - ・各設備駆動モータ、電気設備変圧器等を高効率化に改良等

18 衛生センター施設整備事業

受入貯留棟は昭和60年3月、水処理棟は平成7年12月に竣工し、長期稼働により設備機器の老朽化が進行していることから、令和13年度の供用開始に向け、新たな施設の整備を予定している。また、新たなし尿処理施設として、汚泥再生処理センターを整備するため、1月にし尿処理施設整備基本計画を策定した。